

上天草市環境基本計画の見直しについて

計画見直しの基本的な考え方

計画期間の中間点での見直しであるため、背景や市の現況・環境の概要など骨格である環境像や環境目標（基本計画第1～3章）については変更しないこととし、環境行政を取り巻く社会情勢の変化、平成26年度までの計画の進捗状況、環境に関する市民アンケート結果等を踏まえ、基本計画第4章に掲げている主体ごとの取り組み内容や数値目標等について見直しを行うもの。

計画見直しの方針

当初設定されていた数値目標には、現状には即さない目標や成果がわかりにくい目標が設定されているため、今回の見直しでは、それぞれの目標を現状に合ったもの、又は、成果がわかりやすいものに見直しを行うもの。

見直しのスケジュール

別紙1のとおり

現状の数値目標等

現状の目標達成に向けた取り組み内容及び取り組みの数値目標は、別紙「上天草市環境基本計画 概要版」を参照

見直しが必要と考えられる指標は以下の通り(事務局案)

自然環境の保全及び創造(環境目標1)

見直し項目	見直しの理由	項目変更案・目標値修正案・修正内容
1 猪の捕獲数(頭)	H25年度ではH27・32年の目標をクリアしているものの、猪の捕獲頭数の増減は、猪の生息頭数と比例していないため	猪の被害面積又は被害件数(要 農林水産課協議) 猪を含めた有害鳥獣の被害面積(要 農林水産課協議)
2 松くい虫被害材積(m ³)	H25年度ではH27・32年の目標をクリアしていない。防除及び駆除面積は、被害面積の一部を行っているため被害面積と一致しない(事業の量を計上したもの)	駆除面積ではなく松くい虫被害面積(要 農林水産課協議)
3 稚魚(マダイ、ヒラメ、ガザミ、車海老)放流数(千尾)	H25年度ではH27・32年の目標を大幅に下回る。放流の効果を高めるためサイズを大きくしたことにより減少した。今後も同様の方法による業務の継続が見込まれるため	H32(目標)1,100⇒715 今後も同様の方法による業務の継続が見込まれるため、H25年度の5%増を目指すもの

生活環境の保全及び創造(環境目標2)

見直し項目	見直しの理由	項目変更案・目標値修正案・修正内容
5 水のきれいさ(海・川・海岸)の満足度(%)	H24年度よりH32年目標をクリアしている。そのため指標の上方修正が必要である	H32(目標)45⇒55 近年1～2%上昇しているため、年1.5%程度の増加を目指すもの
6 公共用水域(河川)の水質(BOD)※環境基準の達成率(%)	測定地点が1箇所で、達成率が100%か0%であるため、達成率以外の数値で表せないか	測定地点が1箇所で、達成率が100%か0%であるため、達成率以外の数値で表せないか
7 公共用水域(海域)の水質(COD)※環境基準の達成率(%)	測定地点が2箇所で2地点であるため、達成率は100,75,50,25,0となる。達成率以外の数値で表せないか	測定地点が2箇所で2地点であるため、達成率は100,75,50,25,0となる。達成率以外の数値で表せないか
8 まちなみの美しさの満足度	H25年度よりH32年目標をクリアしている。そのため指標の上方修正が必要である	H32(目標)55⇒70 既にH25年度で63.7%と高い数値であるため、今後の大幅な増加は見込めないと予測し、年1%程度の増加を目指すもの

地球環境の保全(環境目標 3)

見直し項目	見直しの理由	項目変更案・目標値修正案・修正内容
2 生活の便利さよりも環境の保全や省エネルギーを優先したいと考える人の割合	現状でH27年目標をクリアできていないだけでなく、比較的年々減少傾向にあるため、指標の変更が必要	H32(目標) 75⇒70 指標の内容から今後大幅な増加は見込めず、H25年度の10%増程度を目指すもの
3 市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量 (kg-CO2)	東日本大震災以降、火力発電重要が増加したため排出量算出のための係数が大幅に変更されたことによる指標の変更が必要	H32(目標) 3,865,951⇒5,009,374 H25年度実績及び係数を基準に、残り7年間で7%削減を目標とするもの

循環型社会の構築(環境目標 4)

見直し項目	見直しの理由	項目変更案・目標値修正案・修正内容
3 ごみ出しのマナーやごみの分別の状況への満足度 (%)	平成24年度よりH32年目標をクリアしている。そのため指標の上方修正が必要である	H32(目標) 65⇒75 年々増加しており、H25年度実績値が69%であるため、年1%増を目指すもの
4 レジ袋削減推進協定参加店舗数(件)	平成25年度で27年目標はクリアしているものの、小型店舗廃業による参加店舗数が減少傾向であるため、指標の変更が必要	H32(目標) 140⇒120 今後も小型店舗の廃業が見込まれるため、H25年度の協定参加店舗数を維持する方向で指標を修正するもの
5 1人1日当たりのごみ排出量(g)	核家族の増加に伴い1人あたりのごみの排出量は増加しているため、指標の見直しが必要	H32(目標) 654⇒787 当初目標値からは大幅に増加するが、本市の平成25年度実績の787gが全国と比較した場合に優れた数値であるため、現状維持を目標とするもの
6 リサイクル率 (%)	リサイクル率は年々減少しており、指標と大幅な違いがあるため指標の見直しが必要	H32(目標) 20⇒15 現状では年々リサイクル率は減少傾向にあり目標とかけ離れているが、資源ごみの見直しや市民が理解しやすい分別手引の作成等によりH25実績から5%程度の増加を目指すもの
7 廃棄物の不法投棄の状況への満足度 (%)	指標と現状が大幅に違うため、指標の見直しが必要	H32(目標) 40⇒30 計画当初よりは増加しているものの、近年は満足度が減少傾向にあるため、巡回パトロールの強化や監視カメラの設置によりH25年度の1.5倍増の30%を目指すもの

環境教育及び環境保全実践行動の推進(環境目標 5)

見直し項目	見直しの理由	項目変更案・目標値修正案・修正内容
1 こどもエコクラブ参加団体数(団体)	指標と現状が大幅に違うため、指標の見直しが必要	H32(目標) 10⇒5 現状(1団体)から目標が高すぎると判断できるため、まずは4団体参加を目指す5団体とするもの